

## 見て、感じて、撮った

(講師 小林順一さんのフェイスブックより)



先週の16日(金曜)は、宮崎市内の地域活動支援センターの江南よしみ、すみよしの2カ所の支援センター合同のプログラム、「地域デビューをしよう！」で写真WSを「見て、感じて、撮った」というタイトルで実施しました。

当事者11名、実習生1名、スタッフ3名の参加で、10時30分から住吉公園に集合して公園内を散策しながら撮って楽しんできました。

特別なものがあるというような公園ではないのですが、カメラを向けるといつも見ている風景が違って見えることを楽しんで撮ってもらいました。

写真は、参加メンバーそれぞれの感性と生き方が反映するので、被写体を選ぶ時に丸ごとその人らしさが現れてしまいます。



なので、撮った写真を鑑賞会で見るのが楽しみになります。

何でもない被写体が、撮る人によって特別なものとして見えること自体写真の面白さだし、被写体に新たな命を吹き込むことができるのも、カメラという機械を使うことによって可能になるということ自体不思議な道具です。

いつも思うのですが、経験はマンネリズムの始まりで、新鮮な気持ちを失い、  
だせい惰性で生きてしまうという現実を踏まえて、決めつけない、思い込まない、囚われない精神を発揮してもらうことが、写真WSの心得として実施しているところです。

何事も社会的な立場で物事を見るのではなく、人間丸ごと(Being)として世界と向き合うことで、より人間的な本質(表面的ではない)にふれることになるのではないのでしょうか。

**みなさんが撮影した写真はコチラで見ることができます。**

○写真集団 「えん」 ブログ <http://photoen.miyachan.cc>

報告制作者：ピアサポーター兒玉美香(江南よしみ支援センタースタッフ)